

ゲンビどこでも企画公募 2018

募集期間：2018年7月1日(日)～8月31日(金)

展示期間：2018年11月10日(土)～11月25日(日)

毎年恒例の公募プログラム、今年も自信作・意欲作を大募集！ 審査のポイントは館スペースと作品のコラボレーション効果

「ゲンビどこでも企画公募」は広島市現代美術館の無料パブリックスペースをアーティストに開放して開催するオープン・プログラムです。本プログラムは、美術館の展示室以外のさまざまな空間の特徴を活かした、作品展示プランを広く国内外から募集します。空間と作品が互いに魅力を引き出し合っていることが重要な審査ポイントです。絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンス等、作品ジャンルは問いません。本企画を通して、アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供します。

【特設サイト】募集要項・応募用紙ほか、館内スペースの特徴や過去の入賞作品の展示写真等を掲載。 <https://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>

地元企業・特別審査員とともに行うアーティストの育成、 そして美術館の新たな魅力の創出

アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供するとともに、美術館という場の新しい魅力を創出し、発信することを目的として行う本プログラム。さらに、創作活動の場を地元との連携から作り出していけるようにとの趣旨に賛同いただいた地元企業3社（オタフクソース株式会社、オリエンタルホテル広島、株式会社 広島アンデルセン）と、各方面で活躍する特別審査員との協力体制により、創造の場と交流の場を創出します。

幅広い分野で活躍する特別審査員

五十嵐 太郎／東北大学大学院教授、建築史・建築批評家

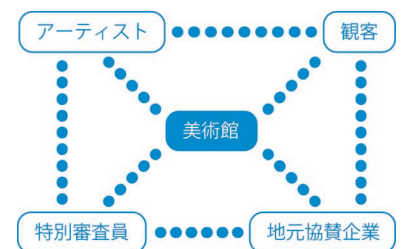
1992年、東京大学大学院修士課程修了。博士（工学）。あいちトリエンナーレ 2013 芸術監督、第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッショナー、「窓学展示一窓から見える世界」の監修を務める。第64回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。『日本建築入門 - 近代と伝統』（筑摩書房）、『日本の建築家はなぜ世界で愛されるのか』（PHP研究所）ほか著書多数。

西野 達／美術作家

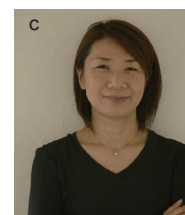
屋外のモニュメントや街灯などを取り込んで部屋を建築しリビングルームや実際にホテルとして営業するなど、都市を舞台とした人々を巻き込む大胆で冒険的なプロジェクトを発表することで知られる。現在はベルリンと東京を拠点に活動。シンガポールのマーライオンを使ったホテルプロジェクト「The Merlion Hotel」、2011年、NYマンハッタンのコロンブスのモニュメントを使用したプロジェクトなど。

原 久子／大阪電気通信大学教授、アートプロデューサー

アートプロジェクト・展覧会の企画・運営、執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。共同企画に「六本木クロッシング 2004」（森美術館）、「Lab ☆ Motion」（TWS本郷、2007）、「Between Site & Space」（ARTSPACE、シドニー、2009 / TWS渋谷、2008）、「あいちトリエンナーレ 2010」、「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2011」、「パリに笑壺を運ぶ - 現代日本映像作品展」（パリ日本文化会館、2012）など。共編著『変貌する美術館』（昭和堂）ほか。専門は現代美術、文化政策。



- ・アーティストの育成
- ・美術館の新たな魅力を発見
- ・創造の場、交流の場をつくる



A 五十嵐 太郎
B 西野 達
C 原 久子

作品プラン募集 7月1日(日)～8月31日(金) 必着

募集内容

- ① 作品のジャンルは問いません。(パブリックスペースの広さや構造において実現可能なもの)
- ② 広島市現代美術館のパブリックスペース(エントランスホール、ミュージアムスタジオ、回廊、ホワイエ、階段まわり等)を活用した展示プランを募集します。
- ③ 開催期間を通して展示できる作品であること。(パフォーマンスや演奏の場合は1日単位でも可)
- ④ 作品の制作、設置、展示、撤去、運搬、並びに広島市現代美術館までの交通費など、当企画に関わる費用などは、すべて出品者の負担となります。

応募方法

応募用紙(特設サイトからダウンロードもしくは美術館に請求(92円切手を貼った返信封筒を同封)、館内でも配布)に、必要事項を記入のうえ、広島市現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2018」係まで郵送または館受付まで持参してください。

応募に関する注意

- ・募集要項を必ず確認すること。条件に満たない場合は審査対象外。
- ・応募受付は郵送または美術館への持参のみ。Eメールでの応募は不可。
- ・会場下見可能。希望の場合は美術館まで問い合わせを。

審査選考・結果発表 10月10日(水) 特設サイトで入選者発表!

審査および入選者の発表

特別審査員と当館学芸スタッフによる審査を行い入選者(8名/組)および各賞を選出します。(各賞3件は入選者の中から選出)

●入選: 8名/組→金一封(10万円)とオリエンタルホテル広島・シングル1泊宿泊券(期限付き)、オタフクソース株式会社、株式会社 広島アンデルセンより各企業の製品が授与されます。

●特別審査員賞: 3名/組

●観客賞: 1名/組(来場者による投票。投票期間:11月10日～11月18日)

展覧会 11月10日(土)～11月25日(日) 入場無料

●入選作家8名/組の作品とゲンビスペースのコラボレーションをご覧ください!

授賞式

■2018年11月10日(土) 14:00～

式は誰でも参加可能、新しい才能の発見と応援にぜひお越しください。

スペシャルトーク

■2018年11月10日(土) 15:00～

特別審査員の西野達氏によるトークを開催します。

地元協賛企業の日

観客賞へ投票いただいた先着50名様に素敵なプレゼントがあります。

■オタフクソースの日/11月11日(日)「広島お好み焼こだわりセット」

■広島アンデルセンの日/11月17日(土)「石窯食パン」

※プレゼントの内容は変更になることがあります。

【過去の「ゲンビどこでも企画公募」入選作品】



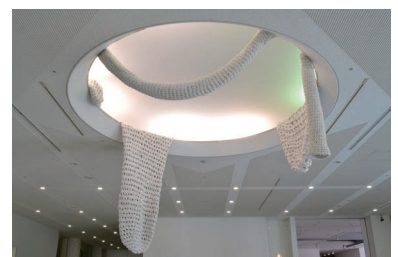
2017年/特別審査員賞(高嶺格賞)
飯川雄大《デコレータークラブプロジェクト「衝動とその周辺にあるもの」》



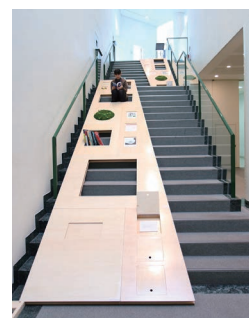
2016年/特別審査員賞(飯田志保子賞)
鮫島弓起雄《偽広島市現代美術館》



2014年/特別審査員賞(八谷和彦賞)、観客賞
関川航平《風邪をひいて、なおす》



2011年/特別審査員賞(谷尻誠賞)
中村潤《kamiwoamu kamiwomaku iriguchi》



2009年/地元企業賞
谷田真+名城大学建築学科谷田研究室
《どこでも・何にでも・ファニチャー》